

筑波大学附属病院

職員専用病児保育室見学させていただきました

令和7年6月発行



筑波大学附属病院とは

国立大学法人筑波大学が運営する大学病院で茨城県つくば市にあります。809床の病床を持ち700名程度の医師が在籍しています。

高度に専門化された医師、看護師、技師の適切かつ統合的チーム診療を能率よく受けられるような体制の確立・維持及び優秀な臨床医の養成を目指しています。

また、特定機能病院として高度医療の提供、高度医療に関する開発・評価及び研修を行うとともに、他の医療機関との間での患者さんの紹介等を通じて緊密に連携を図っています。

どんな施設ですか？

- 2024年の病院のリニューアル時に、既存の病児保育室を刷新し、病児保育専用エリアとして設置されました。
- 保育ルームが3部屋あり、子供専用の小さなトイレや手洗い場も設置されています。



小児専用洗い場
保育ルームのそばです



保育ルーム1

利用しやすい病児保育室です

- 対象職種には制限があり、事前登録が必要となります。
- 当日朝までにメールか電話で連絡（症状によっては不可）
- 平日は小児科医師の担当が決まっており、ベビーシッターを毎朝常駐させているため、当日朝の予約にも対応しやすい体制がつけられています。



小児専用トイレ
小さくてかわいらしい(^▽^)



保育ルーム2



ここがポイント

- 保育ルーム、小児専用手洗い場、小児専用トイレ、事務室、倉庫が一つのエリアにまとまり、まるで小さな病棟のよう。エリア内ですべて完結できるようになっています！
- 担当医も病児保育室を利用した経験から、率先して登録をすすめているとのこと。院内研修や、口コミでも病児保育室が周知されています。小児を診る側と、診てもらう側の気持ちができるのは心強いと思います。
- ハード面でもソフト面でも使いやすい病児保育室です。

担当者・関係者の思い

「皆さんの声を取り入れてより良くしていきたいと考えています。」
「担当医が身近に感じられるので、安心して支援できます。」
「リニューアルしてとてもよかったと思っています。」
等のお話が聞けました。



おもちゃとセット
充実しました！

一番広い
保育ルーム3



相談員から

- 関係者の方々の「病児保育施設を良くしよう、維持していこう」という熱意を感じました。
- 本窓口でも病児保育の推進事業を行っているので、実際の現場を見ることができてとても興味深かったです。
- 病児保育施設があること自体が、働き続ける安心感につながっていると感じました。
- お忙しい中丁寧にご対応いただき感謝しております。

